

子どもの読書環境と学校図書館

下窪みずほ (兵庫県立北摂三田高等学校)

子どもの読書環境と学校図書館		北摂三田高校 2年 下窪みずほ ゼミ指導教員 村本 守
研究動機	<p>近年、インターネットやスマートフォンゲームなどの登場などにより子供の読書量は減少している。</p> <p>そのなかで子供たちに本に興味を持ってもらい、読書量を増やすために、図書館はどのような取り組みをしてきたのか？</p> <p>またどのような取り組みに効果があるのか？</p>	研究結果
先行研究と研究テーマ	<p>〇先行研究</p> <p>5月1か月間の読書量の推移</p>  <p>過去31回分の5月1か月間の平均読書量の推移</p> <p>5月1か月間に読んだ本が〇冊の児童生徒数</p>  <p>過去31回分の不読者(〇冊回答者)の推移</p> <p>先行研究により2000年にはいってからは、1か月の読書量が増加し、1か月間で読んだ本の冊数が〇冊の児童生徒数も減少している。</p> <p>一図書館や学校はどのような取り組みをしたのか？</p>	<p>三田市に焦点を絞って取り組みについて調べる。</p> <p>三田市では、「三田の子ども読書活動推進計画」として、平成18年4月からの第1次、平成25年4月からの第2次、平成31年4月からの第3次を策定し、取り組まれている。</p> <p>①三田市立小中学校での読書力を高めるための取り組みの状況(平成17年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体一斉読書の実施 小学校 11/20(55%) 毎日実施2校、中学校 4/8(50%) 毎日実施4校 ・図書ボランティアとの連携 小学校 13/20(65%)、中学校 2/8(25%) ・市立図書館との連携 小学校 16/20(80%)、中学校 5/8(63%) ・司書教諭等の配置 小学校 12/20(60%)、中学校 5/8(63%) ・学校図書館を利用した授業が図書資料の不足によりできない <p>① 三田の子ども読書活動推進計画(第1次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の読書活動推進指定校決定 ・各校、全教育課程に位置づけ実践を行う ・学校図書館、図書資料を活用した授業の工夫改善 ・子供の読書力調査 ・市立図書館、家庭、地域との連携を強める実践(図書ボランティアの養成など) ・子供が活用、集いなくなる学校図書館の整備(図書管理システムの導入など) <p>② 三田市子どもの読書活動推進計画(第2次)</p> <p>③ 三田市子どもの読書活動推進計画(第3次)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の配置 ・学校図書館の環境整備 ・教職員の研修 ・読書を促す教室提示の工夫 ・「さんだっ子読書通帳」の配布、活用 ・地域ボランティアとの連携 ・市立図書館との連携 ・図書館だよりの発行 ・さんだっ子読書の日(毎月23日)の取り組み ・年間貸出100冊以上の児童生徒を表彰 ・三田読書感想文集(さつき)発行
研究方法	<p>図書館などで本を借りて、具体的な取り組みとその効果について調べる。</p> <p>小学生にアンケートを取る</p>	まとめ・展望
<p>〔参考文献〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学校図書館協議会 https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html ・三田の子ども読書活動推進計画 (三田市教育委員会 平成18年4月) ・三田市子どもの読書活動推進計画(第3次) (三田市教育委員会 平成31年4月) 		<p>平成18年度から学校図書館の在り方がかなり変わっていた。</p> <p>ただ2000年から読書量が増加したりしていることの因果関係がわからなかったため、もっと視野を広げて追及していきたい。</p> <p>今回は具体的な取り組みまでしか調べられなかったため、今後はそれらの取り組みに関する結果を調べていきたい。</p> <p>今、小学1年生と4年生の児童に読書に関するアンケートを取っているため、結果が帰ってきたらどの取り組みが効果的なのかを考えていきたい</p>